

今月の「トピックス」

- 1.アベノミクスに期待出来るか?
- 2.20:80のルール!
- 3.真面目に働きなさい!
- 4.生活保護の高校生って…
- 5.損害保険会社の研修!
- 6.決断力・実行力が優れた女性!
- 7.想定にとらわれず主体的行動!
- 8.おかやま的ココロ!
- 9.ほほえみ日記!

世の中に変化が起こっています!

アベノミクスの影響で
良くなっている企業と
また反対に悪くなっている
企業に二分されています。
不動産業界でも地域によって
格差が出ています。慎重に見極
めて判断しましょう。



たかし

1. アベノミクスに期待出来るか?

アベノミクスとは2012年12月に誕生した安倍晋三内閣の経済政策の事です。エコノミクスとかけ合わせた造語で、レーガンomics(1980年代・米レーガン政権の自由主義経済政策)にちなんでいるそうです。

「財政出動」「金融緩和」「成長戦略」という「3本の矢」で、長期のデフレを脱却し、名目経済成長率3%を目指そうというもの。

「財政出動」の対策規模は総額20兆円(内13年度補正予算案13.1兆円)で、公共事業が主体となっています。東日本大震災からの復興促進・防災体制の強化を軸に、老朽化した道路や橋の再築・修復、学校の耐震補強などが対象です。

確かに、公共事業が減ったことで大手建築土木の会社が民間の工事に参入してきましたので、賃貸マンションやアパートの建築ラッシュが勢いを増したように感じていました。その影響で中小の建築会社が厳しい状況に追い込まれたように思います。公共事業を増やす事によって若い人たちの就職率が上がり所得が増えるとすれば望ましい事です。

世界金融危機(2008年)後では、麻生内閣による「経済危機対策」(09年4月)の補正予算14.7兆円以来の規模となっています。「金融緩和」はインフレターゲット(物価上昇率の目標)を2%に設定。日本銀行(日銀)とは積極的な通貨供給を前提としたアコード(政策協定)が検討されていますが、日銀の独立性を損ねるという指摘もあります。

インフレと連動する円安の流れで、日本のGDP(国内総生産)の約13%を占める、電機・自動車など輸出型産業の再生も図りたい模様です。

私たち庶民の問題として、税金や物価が上がるの好ましい事ではありません。金融緩和によって景気が回復すると言われていますが、銀行は果たして緩めるのでしょうか?

今のところ、私たちのさいたま市西区では不動産は値下がりが続いているように感じます。貯金がたくさんあって所得が多い人は注文建築を建てられているのでしょうか。賃貸市場も今のところは明るい兆しあ少し時間がかかるのでしょうか。

「成長戦略」は研究開発・イノベーション創出促進、省エネルギー・再生可能エネルギー投資の促進、新ビジネスへのチャレンジなどを骨子としていますが、現時点では重点分野が定まっていません。

平成26年3月に完成予定の指扇駅の様子



西区不動産専門店・賃貸・売買・リフォーム・保険・法律相談・サイクルセンター



株式会社アプローチ

TEL048-621-1300/FAX048-621-1301

お客様ご相談窓口 0120-241-060

〒331-0074

さいたま市西区宝来1717-5

<http://yamatokun.info/> mail info@yamatokun.com

■定休日 毎火曜

■営業時間 10~19



岡山 貴紀

指扇駅ロータリー内



2013年6月までに、有識者からなる産業競争力会議(日本経済再生本部に設置)が絞りこむ予定で、環太平洋経済連携協定(TPP)への対応も注目されています。

成長戦略は一夜にしてなるものではありません。ここ数年、日本は暗いイメージが強かったです。

安倍首相は行動的に海外の政治家達と交渉を続け、国内の問題は強気発言が目立ってきました。若い人たちが見るTV番組や国民的な行事にも顔を出し、政治家として良い印象を与えるように努力されています。なんとなく日本は良い方向に向かっているのかなあ・・と信じたい気持ちになってきました。

緊縮財政下の再分配を重視した民主党の政策から一転、産業界には期待の声が高まっていますが、ばらまきによる「財政出動」や「金融緩和」は一時的なカンフル剤に過ぎず、借金増による財政規律の崩壊も心配されています。

政府は消費税率を2014年4月に8%、2015年10月に10%に引き上げる消費増税法案を閣議決定しました。

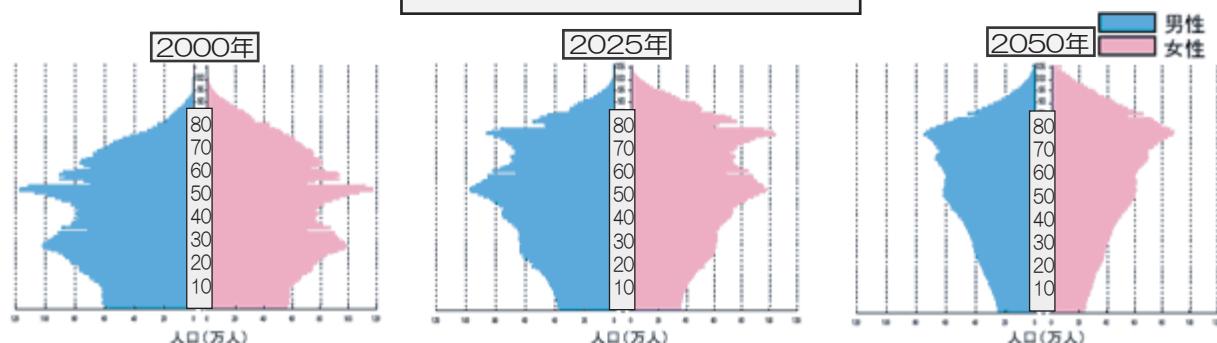
右へ

消費税が上がる前に不動産を購入しようと動いている人たちの話も聞きます。我が国は世界の主要先進国の中で最も高齢化が進んでおり、今後も一層の高齢化が見込まれています。不動産に関しては本当に必要な人の割合がどれ位になるのか、きっと今後は減少していくと思っています。来店されるお客様も「いつかは実家の家を建て替えるので賃貸を希望しています」という方が増えてきました。

私たちの心配は税金だけが上がって、景気が良くならないで所得が増えない事です。老齢年金を頂くまでに数年と迫ったなった私は、受取額を減らされるのは寂しいです。若いたちはもっと可愛そうです。せめて自分が払った分だけを返して欲しいです。ほとんど年金を支払わずに、しかも働けるのに努力しないで生活保護に頼っている人たちへの支払額を見直して欲しいです。

4月はたくさんの生活保護受給者から相談を受けました。あの記事に書いて行きますのでお読み下さい。

人口ピラミッドの変化

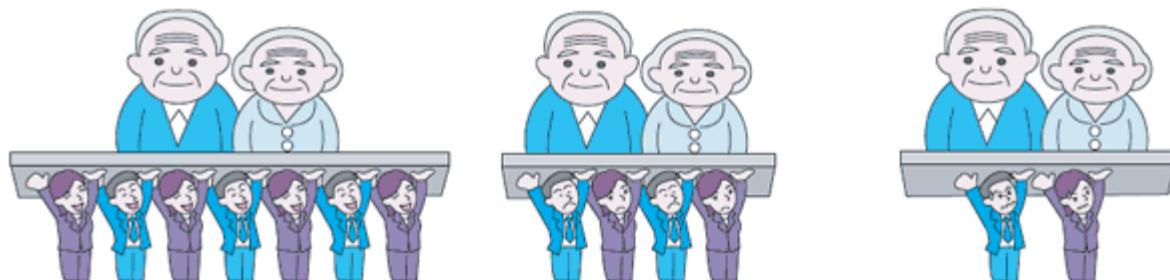


20~64歳人口の65歳以上人口に対する比率（総人口）

3.6 (1億2,693万人)

1.8 (1億1,927万人)

1.2 (9,515万人)



2. 20:80のルール！

税理士さんが月に一度の経理確認に事務所に来られた時の事です。あと一ヶ月ちょっとで決算なので、厳しいお話をたくさん聞きました。私からはアベノミクスについて聞いてみました。

「不動産の価値が上がるようになるかも」と言われましたので、現場にいる私は「価格が上がる要素は全く見受けられませんけど」と返事をしました。

大手企業は給料を少し上げているそうです。

それ以上に消費税などが上がります。庶民は所得が増えないまま、物価だけが上がる可能性があります。そうすればお金持ちとそうでない人の格差が益々広がるのであります。

「20-80のルール」についての話が出ました。構成要素を大きい順に並べた時、上位20%の要素で全体の80%程度を占めることが多いという経験則です。

ビジネスに限らず様々なケースにおいて、一部の要素が全体のかなりの割合を占めることが経験的に知られています。

ビジネスシーンでの典型的な例としては、「上位20%の顧客で売上げの80%を占める」「上位20%の商品で売上げの20%を占める」「故障原因の上位20%で80%の故障を説明できる」などがあります。

これが2割のお金持ちが日本全体の8割のお金を持っていて、8割の庶民が2割のお金を分け合っている事になるのだとか。

8割の庶民の私は、益々格差が広がって貧乏になるのかも知れません。不動産の価値が上がるかどうかは、人口が増えるどころか減る一方なので、親の不動産を相続すれば不動産を必要としない人が増え、供給過剰になるばかり。説明するまでもありません。

でも私は不動産価値が上がって欲しいと願っている一番の人間です。それでないと仕事への希望が持てませんから。20-80のルールはアプローチの仕事にも摘要したいと考えます。一般会社の定年を考えれば、若い人たちが中心になって働く方が良いと思うからです。

今は多少の失敗をしてもバックがいる時に安心して聞けるのでいろいろなチャレンジが出来ます。若い人の発想力や行動力に期待したいですね。その為にはいかに仕事が家族や生活を支えているのか、お客様のために自分に何ができるかを認識する事だと思います。

ピッカピカの1年生になりました！成長するのは本当に早いですね。子供達が大人になった時、暮らしやすい社会になっていますように！



3. 真面目に働きなさいと説教を！

朝一番にやってきたのは疲れ気味の叔父さでした。まだ60歳になっていないそうですが相当老けて見えます。「生活保護を受けます。母親が連帯保証人で79歳です。」

「お母さんと一緒に暮らさないのでですか？」と質問します

「都営に住んでいるから一緒に住めません」と返ってきました。

なぜでしょう？

都営に親子で住むと家賃が高くなる？

生活保護が受けられない？

役所は節税を考えないのかしら？

無駄な事をして大枚を捨ててる？

次の日にやってきた男性も50歳代です。

「引っ越し理由はなんですか？」

「家賃の滞納。今月末に出ないといけない。」

「生活保護は？」

「今、役所に行ってきた。」

身内もいない。仕事も無くなかった。

家賃が払えない。これで契約が出来るの？

「あちこち当たっているんだけどねえ」

私は頭にカチンと来ました。

「この事務所であなたに貸せるアパートは無いです。他の不動産屋さんに行って下さい。」

社員に話すと笑いながら「正直な人」だって。

更新手続きに来た30代半ばの女性は、契約時は派遣社員でした。突然滞納が始まり、やがて生活保護を受けるようになったのです。

それから2年も経過しましたので

「仕事は決まりましたか？」と聞きました。

「探している所です」

私はまた頭にカチンと来て

「勉強して資格を取るとか、どんな仕事でもやってみるとかしないのですか？」

「学校に行って資格を取ろうと思ってます」

「甘えるんじゃないわよ。学校になんか行かなくったって資格は取れます。必死になって勉強しなさい。このまま年を取ったらどうなるの？孤独死よ。」

「私は資格をたくさん持っていますが、自慢じゃないけどほとんど独学です。その気になれば何でもできるはず。パートでも何でも掛け持ちして、実績を残してないと誰も雇わない。生活保護を受けている人なんて。どうするの？」

のんびり暮らして、化粧バッチリで可愛いお洋服や帽子にバッグを持って、何が生活保護？こんな人の為に私たちの血税が・・・と思うと大声で怒鳴ってしまいました。

女性は「叱って下さってありがとうございます。頑張ります。」と目をぱちくりさせて帰つて行きました。



休暇と一緒に連休は5月の淡路島は福岡の福のんびりと楽しみました。

4. 生活保護の高校生って・・・

またまたやってきた生活保護家族。母親と高校生の長男・長女の3人暮らしだす。保護を受けて10年以上になるのだとか。

みんな体がデカイです。栄養の取りすぎで運動していないみたい。みんな携帯電話やスマホを持っています。3人ともバイクに乗つてやつて来ました。

探しているのは3DKの貸家で62000円以内です。引越し理由を聞きますと「隣人に変な人がいて迷惑を蒙っているから」と言われました。そんな理由で役所が引っ越し代もすべて出してくれるのでしょうか。

資料をお見せすると
「俺はこの部屋がいい、私はここにしよう。」
えっ？、一人づつ部屋を確保？

私が子供を育つて生活が大変な時、子供たちは3人で1部屋でした。車も持てない時期があったのに、生活保護で自転車じゃなくて全員がバイク持てるのでしょうか。
って事は、免許を取るお金は出るのかしら？
高校の授業料も出して貰えるのですね？

生活保護の子供って高校に行ける事を知りませんでした。昼間は働いて夜学に行くのだと思ってたからです。いろいろ贅沢品を持っていて、大きな態度で注文を付けてきます。

本当に頭に来ますねえ。
この様な人たちの為に私たちの税金が・・・。
と、いけない事ですが思つてしましました。

5. 損害保険会社の研修！

損害保険会社で研修をしてきました。
あいおいニッセイ同和損保の代理店をして10年経過しました。でも、正式名称はスムーズに言えなくて。なんて長い社名でしょう。

アプローチは共済の代理店もしていますが、契約内容・保険内容によって保険会社を選択しています。事務処理が簡単でお客様のために安心できる内容であれば良いのですが。

研修はみっちり3時間半です。研修っていつも眠いですね。でも後で試験があるって言われましたので、一生懸命真面目に勉強しました。研修内容は、今までの紙ベースからネットでの事務処理に変わる業務でした。保険会社も合併したので、新しいソフトを作ったのでしょう。

それにしても、いくつの保険会社が合併したのでしょうか？

他の保険会社も調べてみました、全体の沿革は解りません。カタカナの社名の多い事。保険の代理店資格を取得してから30年経過していますが、その時の保険会社は次々と合併を繰り返しました。

研修を終えて事務所に戻ると、年配のご夫婦が来店していました。当社で近くのマンションにポスティングしていたチラシを見てそれを持ってやつてきたお客様でした。今の部屋が狭いから3人で住むと窮屈なのが物件探しの理由です。

住むのは息子さん、自分たちは保証人をすると言われましたが、かなり年配です。詳しく事情をお聞きしますと「生活保護受給」です。狭いと言っても、3DKでしかも分譲マンション賃貸です。でもその広さで4-5人で住んでいる人もおられます。

私 「生活保護で、別のアパートに息子さんが住むって、そのお金も出るのですか？」
お客様 「今、貰っているお金の中でやりくりすればいいって担当者が言ってました。」

私 「二世帯で暮らして、その生活出来るのですか？」

お客様 「大丈夫です。」

私 「契約金は出ないでしょ？」

お客様 「私の貯金から出します。」だって。

貯金は60万円以上あるそうで、きちんとしたみなりで、とても生活保護とは見えません。

息子と言っても51歳です。仕事に就いたとしても気が小さくて、上司から強く言われたら仕事が続かないのだと言わされました。全く噛み合わない会話で、歯がゆくなりました。

そんな理由で生活保護・・・。79歳のお父さんは年金を貰ってなくて生活保護です。年金を払っていなければ老齢年金は貰えません。

腹立たしくて苛立ちを覚えながら、「家主さんの為」と思ってジッと我慢する昨今です。顔は優しい笑顔で話しをしています。

「それでは明日、息子さんに事務所に来るよう言つて下さいね。」

生活保護だと堂々と言える事がスゴイと思います。週にこんな人が何人来るのでしょうか？



指扇駅を南側から見ました。今まで地下を掘削してみたいようです。見てみたい遠いわ。駅舎

やまとくん便り No.130-5 2013.5
のみで想像して頂く形です。建築後20年以上経過しておりクロスも剥がれています。即決断という訳には行かないでしょう。

「少し考えられて・・・」と話しかけると「決めておきます」と言われて購入申込書を書かれたのでした。お忙しい方で何でもすぐに決断される方のようです。

私も自分の事は何でもすぐに決めてしまう性格ですが、大きな不動産の購入となると少し考える時間が必要です。すべてをご納得の上、ご自分の手に入れたい物件のイメージと重なったのでしょう。すべてをご納得の上納得の上で決断されたのでした。

後でお聞きしたのですが、売主様情報もきちんと調べられておられたり、契約前に前もってFAXしておいた契約書などもお付き合いのある弁護士に目を通して頂いていたそうです。

すぐに決められたのはお姉さんから仕入れたマンション情報もあったのです。建築された時からお知り合いも多く、分譲価格もご存じだつたり、不動産についてもいろいろな知識を持つおられる方でした。

アプローチからお客様のお姉さんに「やまとくん便り」をお送りしていたのだという事も契約が完了してから耳にしました。偶然のようでいて、いろいろなご縁があってまとまったお話をいました。私もお客様も事業を営んでいる点も共通しています。年は私の方が少し上ですが、将来の事をいろいろと考える年代も共通しています。

ご自宅を持っておられて、2つ目の不動産をローンを使って購入すると住宅ローンは使えません。今回はみずほ銀行さんにご相談して「フラット35のセカンドハウスローン」を利用する事になりました。フラット35はいつも売買契約の時には利用しているのですが、セカンドハウスローンがあるのを初めて知りました。次々と新しい商品が出ています。

一般的に住宅ローンを借りていると、他のローンを組めないケースが多いのですが、今回のお客様は収入面で問題がありませんでしたので返済比率も大丈夫で融資が下りるでしょう。

もう1つ、契約前に重要事項説明書の作成準備のために法務局に出かけて驚いた事がありました。売主様が一般の方から買い取ったばかり

6. 決断力・実行力が優れた女性！

夕方、女性のお客様がお二人で来店されました。お二人は姉妹で、妹さんが「姉の近くでマンションを探しています」とご希望条件を話し始めました。都内に住んでおられる妹さんは、今も自己所有のマンションです。年を取った時のために今からもう1つマンションを準備しておきたいのだそうです。

指扇地区で新築マンションが売りに出ていないか、2000万円までの設備や環境が良い物件が無いかご相談を受けましたが、指扇は中古マンションが主流で価格も安めです。

物件情報が手に入ったばかりのリノベーションマンションをご説明しました。丁度、店頭に広告しようと思って資料を印刷した所でした。お客様はすぐに興味を持たれ、日が暮れて暗くなっていたのですがマンションの室内をご案内する事になりました。

しかし、リノベーションマンションとして売りに出したのですが工事はこれからです。お客様には間取りを確認して頂き、イメージは資料

で所有権移転は申請したものの受理されているだけで登記が未完了でした。

しかし契約は迫っています。売主様から登記申請の受理証コピーを頂き、買主様に権利証代わりだとご説明しました。驚いたのは買主様がこの登記未完了の事もご存じだった事です。お客様の決断は早かったですが、すべてをきちんと調べられて、問題が無い形で契約の日を迎えたのでした。

この契約も特別な形でローンを使いますがローン特約無しという私の経験上、初めての特約になったのです。お客様がご納得されれば問題の無い事です。これも資金に問題が無いと考えられたから売主様からのご要望を受け入れられたのでしょう。

私もそうですが、女一人で事業をしていますと、時には大きな決断を一人で行う時がありました。アプローチにとって一番大きな決断をしたのは事務所移転でした。今の事務所に引越てきて本当に良かったと思います。しかしこの女性に比べたら決断の規模は小さいです。

いつも早めに予定・計画して、将来の計画を立てることは重要な事です。今回のお客様により強く認識させて頂きました。世の中の流れに身を任せて流れ流れて・・・も良い時もありますが、後で取り返しが付かない状況になっている場合もあります。

今一度、今の自分に出来る可能性を考えてみませんか？ 年齢は関係ないです。お金に余裕が有る無しに関わらず、目の前の気づきから始めてみませんか？

私はお客様から勇気を頂きました。今からリノベーション工事が始まります。当社もリフォーム工事をしていますので大手会社さんの施工方法も学ばせて頂くチャンスだと考えます。

いろいろなご縁でアプローチの仕事が広がつて行くことに感謝致します。

7. 想定にとらわれず主体的に行動！

災害時に避難を遅らせる、または避難行動に移させない「正常化の偏見」という人の心の動きを紹介した片田敏孝著『人が死なない防災』（集英社新書）は虚を突かれた感じがします。著者は2004年から岩手県釜石市の危機管理アドバイザーを務める、災害社会工学が専門の群馬大学大学院教授です。正常化の偏見とは「自

分は大丈夫」と一生懸命思い込もうとする心の作用です。

例えば避難勧告が出た時、「自分は死ぬかもしれないから逃げる」と発想する人は少数ではないでしょうか。それは人間というものが情報を自分に都合よく解釈するからです。交通事故で亡くなる5000人に自分は入るとは考えないが、宝くじの当選者5000人には入るのはいかと考へるように、と。

片田氏の災害教育の成果の一つとして、今度の大地震・津波で大槌湾近くの小中学校の生徒たちが、お年寄りを介助し、保育園児が乗ったベビーカーを押しながら懸命に避難した様子を紹介しています。

きっかけはグラウンドの地割れを発見したサッカーチーム員の「津波が来るぞ！ 逃げるぞ！」の大聲でした。みんなが駆け出し、訓練どおり避難所へ。かけ崩れに気づいてさらに高台へと逃げました。

この小中学校はハザードマップ（災害予測地図）の区域外でした。だから片田氏は「想定」にとらわれず主体的に行動せよ、と言います。なぜなら「誰にとっても予想もしたくないことが起こること」が災害の本質だからだと。防災を見直すヒントになりそうです。



西区役所に行くと無料で
頂けます。日頃から防災の
準備としておきましょう。

8. おかやま的ココロ

5月になりました。皆さんゴールデンウィークはどう過ごされたでしょうか。最近は日差しが痛いような日が増え、少し動くだけで汗ばむようになってきました。そろそろ夏が近づいてきているなと実感しています。

さて、今月のテーマですが、最近私が読んだ本の中でオススメの一冊を皆さんにご紹介したいと思います。もうすでに読んだ方もいるかも

されませんが、私のような世代にはとても衝撃的な内容であり、しかしそれでも知らなければきっとこの先後悔しただろうなと思わせてくれた一冊です。

便利 No.130-7 2013. 5

もともと放送作家として活躍していた百田尚樹さんは、2006年に「永遠のゼロ」という本を出版して小説家デビューを果たしました。今回ご紹介するのは、百田尚樹さんのデビュー作となった「永遠のゼロ」です。それではまずあらすじから。

情報誌を扱う出版社に勤める24歳の佐伯慶子と4歳違いの大学生の弟・健太郎は、祖母が亡くなると祖父・賢一郎から呼ばれ「お前たちの母・清子を連れて祖母は太平洋戦争後に自分と再婚した。お前たちの実の祖父は、祖母の最初の夫で終戦間際に特攻で戦死した海軍航空兵だ。」と告げられる。健太郎は、それまで本当の祖父と思っていた賢一郎が実は血が繋がっていないかったと知り、ショックを受ける。

それから6年後、司法浪人が長く続いた人生の目標を見失っていた健太郎が、フリーライターとなった慶子から頼まれて、実の祖父・宮部久蔵の足取りをわずかな手がかりの中から追い始めて、その壮絶な生涯を終戦60年目の夏に明らかにしていく。

戦闘機搭乗員としてラバウル航空隊で一緒だったという元戦友に会いに行くと、久蔵のことを「海軍航空隊一の臆病者だった」「何よりも命を惜しむ男だった」「戦場から逃げ回っていた」と羨みの言葉を、露骨に姉弟へぶつけてきた。健太郎は元戦友から最初に聞く久蔵の話に不快になり、聞き取り調査を続ける気を無くしていたが、久蔵を知る他の海軍従軍者たちを全国に訪ね歩いていく。

調べるほど生前の久蔵はそれぞれの証言者で違って評されていて、姉弟はそんな証言を聞いて回るうちに「国のために命をささげるのが当然とされていた」戦時下の世相や背景など今まで全く知らなくても済んでいた、いろんな事に気づいていく。

「生きて帰って娘の清子に会うまで死なない」という妻との約束にこだわり続けていたのに、なぜ久蔵は特攻に志願してしまったのか？姉弟はついに60年の長きにわたって封印されていた、久蔵と意外な人物との関係が明らかになる驚愕の事実にたどりつく。

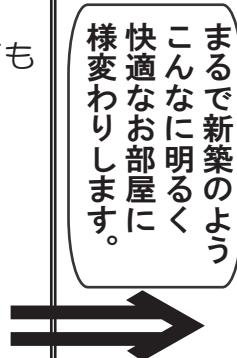
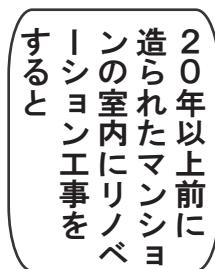
この本の大事な部分としては、主な登場人物である家族ら以外がほぼ史実に基づいて構成されているところにあります。戦争を知らない私たちにとっては非人道的であったり、不愉快であったり、恐怖であったり、怒りであったり、色んな感情が沸き上がります。

しかしそれでも、戦争に勝つことがどれだけ大事なのか、命をかける意味がどれだけ大きいかという気持ちさえも沸き上がってくるという不思議な本でした。現代の世の中は不況だ不景気だとマイナス要素ばかりが先行しがちですが戦場に赴いて命をかけることが当たり前だった時代と比べればずいぶんと平和な世の中です。

この平和が当たり前だと思ってはいけないと
しみじみ感じさせてくれた一冊でした。まだん
でいないという方にはぜひオススメします。軍
隊用語や兵器類などの難しい言葉がたくさん出
てくるのは苦手だという方は、**映画化が決定し**
たようなのでそちらをご覧になっても良いんじ
やないかと思います。

ちなみに、今は同じく百田尚樹さんの「海賊と呼ばれた男」という、大正時代から第二次世界大戦までの話を読んでいます。上下巻のうちまだ上巻しか読み終わっていませんが、こちらは商人として戦争の時代を生きた男が主人公であり、永遠のゼロとはまた違った視点で戦争を捉えている物語でとても面白いので、こちらもオススメです。

読書の秋とはよく言いますが、今の時期は秋ともよく似た陽気ですし、たまにはゆっくり読書をする日を作っても良いかもしれませんね。それではまた次回。



9. ほほえみ日記

気候のいい5月になりました。
清々しい爽やかな風と青い空は一年の中でも
5月がナンバーワンだと思います。
気候のいいこの時期に運動会をする学校も多いようです。

我が家の新一年生も入学して一ヶ月が過ぎました。友達も増えて学校が楽しくなってく
る頃・・・かと思いきや、今日も「行きたくない！！！」と泣きながら登校。送り出す側もヘトヘトです。

彼は完全なる内弁慶。学校では、借りてきた子猫ちゃんになってしまふのです。お友達にからかわれてもじっと耐え、新生活に慣れずに緊張の毎日を送っているようです。
自分で乗り越えて逞しく成長してくれるといのですが・・・

しかし彼はチビでおとなしいものですから女子は放っておきません。
休み時間には女子が周りを取り囲み「かわい～♪」とマスコット状態。
素性を知っている私としては笑ってしまいます。そんなアイドル状態が更に彼の子猫ちゃんを助長しているように思いますが(・・;)

「**今日も学校楽しかったあ！！**」と晴れやかな笑顔で帰って来る日が待ち遠しいです。
小さな心で毎日頑張っているようです。母も負けずに頑張らないと！！

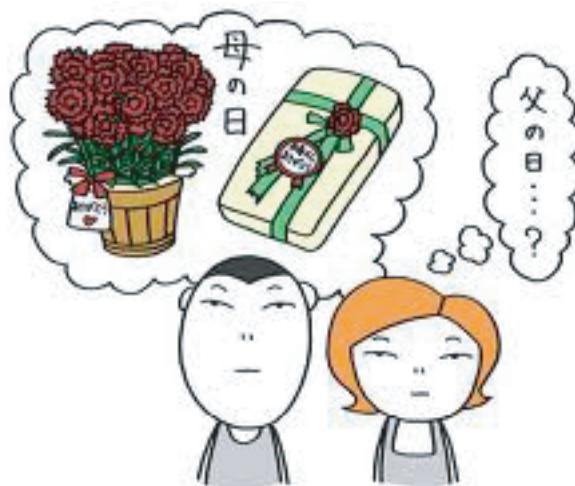


頑りがい仲
張早やじ良
つくつめし
て帰つつ兄弟
ますます。宿題
が弟が毎朝一緒に登校！
題とサッカーママやん

今月の母の日に続き、6月の第3日曜日は父の日です。母の日にくらべて忘れられやすい父の日ですが、普段伝えられない“ありがとう”的気持ちを伝えましょう！

しかし、お父さんとはあまり話さないし好きな物もいまいち分からない・・・という人も多いのではないでしょうか。そこで、今まで父の日にプレゼントをもらったことがあるお父さん約3700人に実施したアンケート結果を掲載します。（力カクコム調べ）

「よくもらう物」と「もらってうれしい物」から、お父さんたちが本当に欲しい物を比較してみましょう！



ベスト5中、4つは一致する結果になりました。私たちがよく贈る品物も、ほぼ喜んでもらえているようです。特に「お酒」は、もっともよくもらい、そして2番目にもらってうれしいテッパンアイテムであることが判明。お父さんがお酒嫌いではない限り、“迷ったらお酒”と覚えておけば大丈夫そうですね。

また「ネクタイ」や「財布」など、個人の好みに大きく関わるアイテムを心から喜んでもらえるのは、意外な事実。“センスが悪い…”と、がっかりさせないポイントを押さえて、お父さんを喜ばせましょう！

面と向かって改めて感謝の言葉を言うのは照れくさいものです。今年は父を誘って食事もいいかなと思っています。

それではまた。

よくもらう物

1位	お酒	20.6%
2位	ネクタイ	18.2%
3位	一緒に外食	15.3%
4位	財布	12.9%
5位	靴下	12.2%



もらって嬉しい物

1位	一緒に外食	25.4%
2位	お酒	18.1%
3位	一緒に旅行	12.3%
4位	ネクタイ	10.1%
5位	財布	9.9%

